

物忘れカフェ

函館大学
大橋美幸

(万人)

日本の認知症高齢者の人数



厚労省「認知症施策推進5か年計画(オレンジプラン)」

2013年度以降

認知症カフェ(認知症の人と家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき、集う場)の普及などにより、認知症の人やその家族等に対する支援を推進

拡充、
国家戦略へ

第1回物忘れカフェ(2014年4月)

参加人数 50人超

- 認知症の人(在宅から一人で・グループホームから職員と)
- 家族(介護中・看取り終えた人)
- 専門職(グループホーム介護職員・ケアーマネジャー)
- 物忘れに関心がある人

年代 10~80代

予想を超える



毎月第3土曜日

13:30~15:30

函館市総合福祉センター

お茶菓子代 300円

各テーブルのポット
でそれぞれ好きな
ものを飲んでいきます

一人ずつ
袋詰めのお菓子

最初の30分「**認知症の話**」

90分間、テーブルに分かれて**茶話会**

第3回物忘れカフェ(2014年7月) 認知症の話「グループホームの暮らし」 質問:グループホームの費用、 身寄りのない人の入居方法など

(質問) **生活を再構築**
するとはどういうことですか

認知症になってできないことが増えているけれども、できるだけこれまでと同じように認知症の人の思いにそいながら、できないことを手助けして「**生活を再構築**」していくという意味です

近くのグループホームから家族と一緒に「**喫茶店に行こう**」と来られた認知症の人も



デイサービス

家族: デイサービスに行ってもらっているので帰ってきた時にやさしくできる

職員: 病院に行くと言われてデイサービスに来られている方に、病院のように接している



病院受診

家族A: 道に迷うようになってようやく行ってくれた

家族B: 近所の民生委員が説得してくれた

第7回物忘れカフェ(2014年10月) 認知症の話「成年後見制度」

茶話会で 自分の将来のために聞きに来た
家族が利用した体験談

自分の将来

参加者A「近所も冷たいけれど、子どもも冷たい」

参加者B「そうです。子どもはあてになりません」

第5回物忘れカフェ(2014年8月)

認知症の人を介護している人の詩の朗読
「満月の夜、母を施設において」など



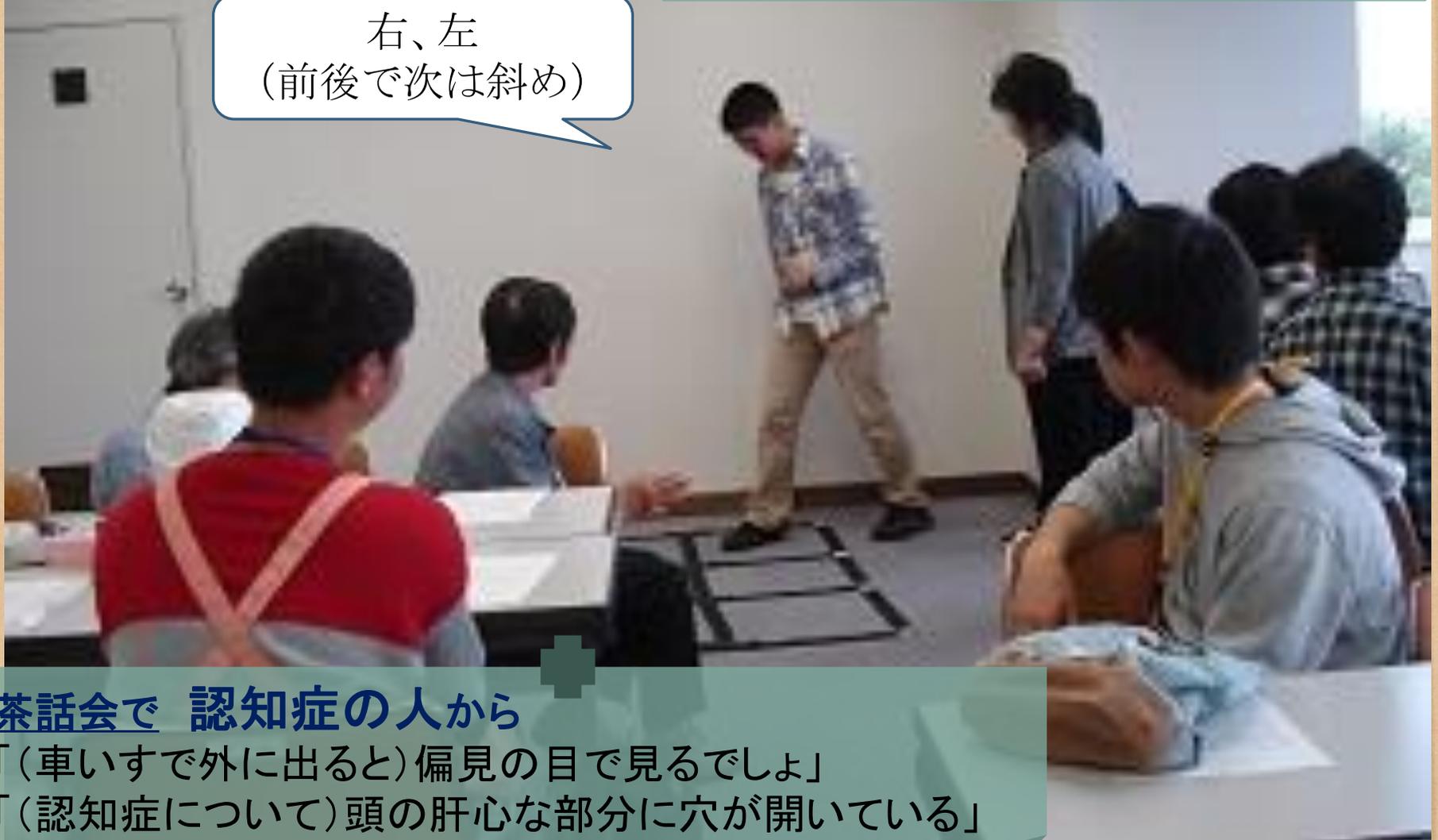
涙が出そうになった

わかる、わかる



第6回物忘れカフェ(2014年9月) グループホームなどでもしている ふまねっと運動

右、左
(前後で次は斜め)



茶話会で 認知症の人から

「(車いすですぐ外に出ると)偏見の目で見るとでしょ」

「(認知症について)頭の肝心な部分に穴が開いている」



感想

- 「有意義な時間でした。また参加したいと思いました(70代女性)」
- 「これからぶつかる問題ですが、話を聞きとても参考になりました(60代女性)」
- 「気軽に参加できる場として続けて欲しい(70代男性)」
- 「いろいろな方と会話ができて良かったです(専門職)」
- 「説明される方がゆっくり話してくださり、わかりやすかった(認知症の人)」

物忘れカフェ

どうなんでしょうの
会

物忘れで困っている人
物忘れで困っている人 がまわりにいる人
物忘れで困っている人 を支えたい人
物忘れについて 関心のある人なら どなたでも

「認知症の話」で聞きたい話を言ってください

高齢者の暮らし、将来の不安など、いろいろな話をしてください

いろいろな人たちに来て欲しいなあ

どうぞ おいでください

問合せ先 函館認知症の人を支える会
TEL 0138-27-4060:木曜日のみ
メール dounandeyonokai@gmail.com

お手伝いして下さる方も募集中です!

7月までの日程

4月19日(土)

13:30~ 講演「まだ起きてたのがいい?カラダ、壊すんでないよ
~ 認知症の人に教えられたこと ~」
三谷真理氏

認知症の人と家族が安心して暮らせる地域づくりのために、
認知症の人や家族と出会って、話をして、
認知症に対する理解と手助けの輪を広げていきたいです



認知症にかかわる人がまわりの人に望むこと



温かな目でゆっくり見て欲しい。必要な時に**そっと手を貸して**下されば介護する者が元気を取り戻せると思います。（母を以前介護・女性）

ちょっと様子がおかしいと感じたら**「どうしたの」と声をかけて**欲しいと思う。（義母を介護中・女性）

自分が住んでいる町で、**ちょっと声をかけたり、気にかける**ことで防げるものがたくさんあります。（母を以前介護・女性）

近所の人、まわりの人はもっと認知症の人が近くに居ることを**理解して欲しい**。
（夫を介護中・女性）

認知症にかかわる人がまわりの人に望むこと

一般の人も他人事と思わず「**明日は我が身**」
と大らかに包みこんでくれることを期待します。
(父を以前介護・女性)

認知症の人も自分の考え、プライドはしっかりもっています。
赤ちゃん言葉を使っている人がいるようですが、**普通に話を**してください。
(義父を以前介護・女性)

認知症の方は子どもに帰っているのではない。
その人のプライドを**尊重した対応**をしていただきたい。
(保健師・女性)



買い物した荷物を忘れてくる。
見つけた人が気づいて**渡して欲しい。**
(夫を介護中・女性)



お金を持っていなくても、後でいいと荷物を持たせる。
どこでツケてきたのかわからず困った。**メモを入れて**くれると助かる。
(義母を介護中・女性)

同じ物を何度も買ったり、関係のない日に関係のない物を買ったりするのは困る。**店に事情を話して協力**してもらうしかない。
(義母を介護中・女性)

スーパーで高齢になると手が届かない。
(母を以前介護・女性)

雨や悪天候の日、買い物の品物を低料金で**配達して欲しい。**
(母を以前介護・女性)

認知症に対して知識がない従業員が多いので、
高齢社会に対応すべく、**従業員教育**をして欲しい。
(母を以前介護・女性)

認知症の人と思っても、通常の人に対応するのと同じように
お客様として丁寧な対応、言葉づかいをして欲しい。
(元施設職員・男性)

病院へ行って帰ってきたが、行ったことを忘れて、また一人で病院へ行っ
た。**タクシーの運転手に、家族に声をかけてもらう**のは無理だろうか。
(夫を介護中・女性)

タクシーに一人で乗っていて行き先が分らなくなった。住
所を持たせているので、**住所などを聞いて欲しかった**。
(夫を介護中・女性)



バスに何度か間違えて乗った。乗る前に尋ねたがよく分からなかったようだ。
行きたいところを聞いて、**バスの番号を教えてください**良かったと思う。
(義母を介護中・女性)

降りるところが分からなかったことがあります。
時間になっても来ないので、バス会社に問い合わせましたら
終点まで乗っていました。
(義母を以前介護・女性)



バスに乗る時が高くて危ない。
低床の場合は良いが考慮して欲しい。
(母を以前介護・女性)

認知症にかかわる人がまわりの人に望むこと

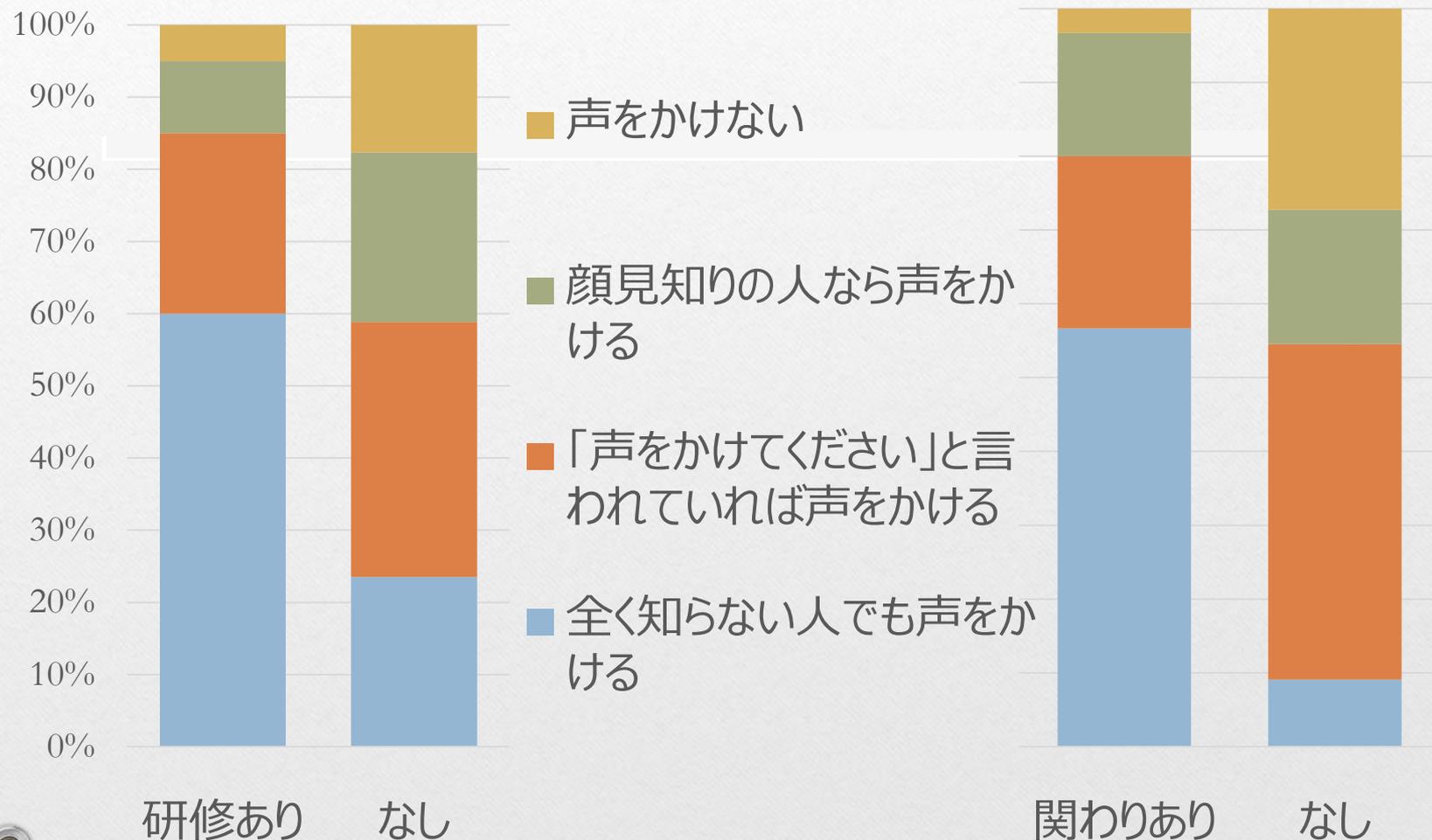


外に出て姿が見えず、5時間くらいしてミニパトカーで送られてきた。
SOSネットワークに連絡しました。 (夫を介護中・女性)

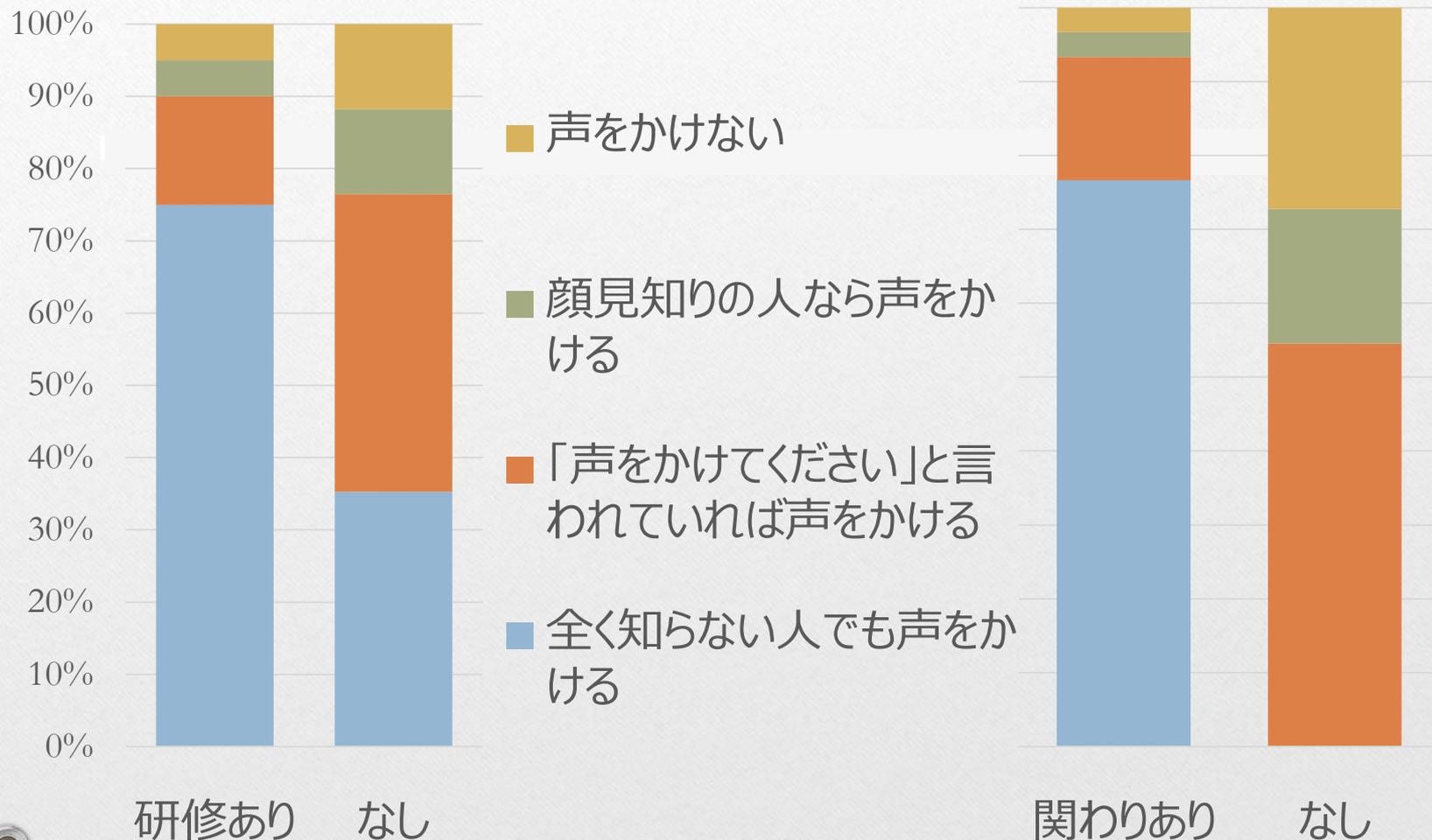
朝早くフェンスを乗り越えて行きました。向かいの家の方がフェンスを乗り越えるのを見ていたそうです。**すぐ教えて下されば良かったの**にと思います。
(父を以前介護・女性)

一般の人が、派出所、福祉施設、自宅へ親切に誘導
してくれるとありがたい。(父を以前介護・女性)

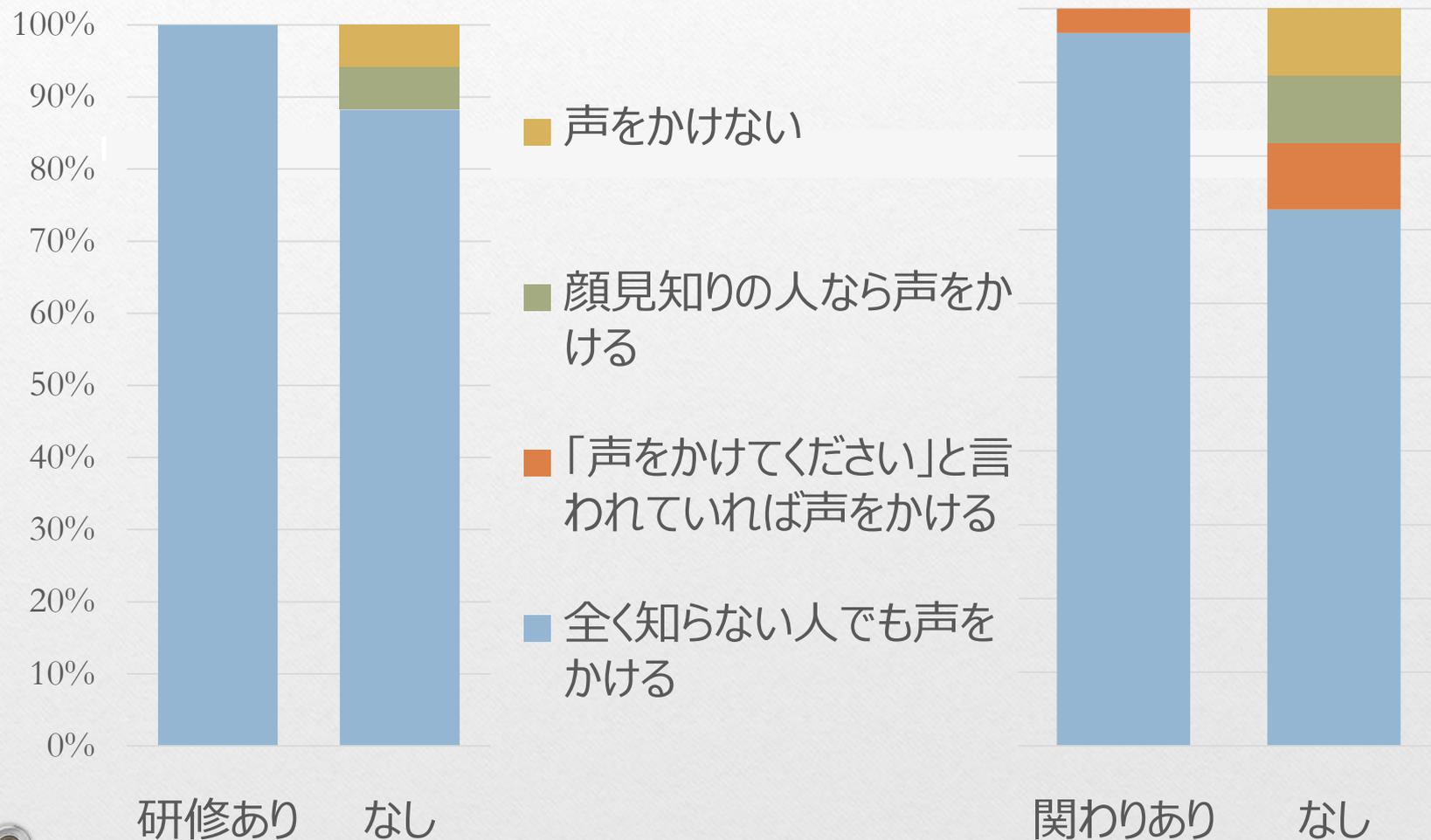
夏に厚着をしているなど服装が季節はずれで、髪をふりみだして、大きな荷物を持ってどこかに向かって歩いている人を見かけたら声をかけますか



スーパーのレジで、お金を払うのに、いくら出せば良いのかわからずに困っている様子の人を見かけたら声をかけますか



道にぐったりと、体の調子が悪そうにしゃがみこんでいる人を見かけたら声をかけますか



脳がちょっと足りないの。
で、手足きかないでしょ。だ
から、まあ町でこういう人を見
つけたらやさしく声をかけて
助けてください。お願いします



認知症の人と家族
による

認知症サポーター養成講座 in 函館大学

認知症 を知って

認知症になっても安心して暮らせる町の**サポーター** になる
養成講座 です。ぜひ、ご参加ください。

近所に認知症の
人がいるけど

どうやって声を
かけたらいいの
かな

家族も大変そう

認知症の人と
介護家族に
直接聞いてみよう！

日時: 10月22日(土) 13:30~15:30 受付13:00~

場所: 函館大学287教室

函館市高丘町51-1 TEL 0138-57-1181
塾棟2階一番奥の部屋、玄関から道順掲示があります。

内容: ● 認知症**介護家族**による認知症の話
● 認知症の人**本人**からのメッセージ

※受講者には**オレンジリング**を配布します。

対象: 学生、一般市民

申し込み: 事前申し込み不要、当日会場におこしください。無料。

問い合わせ先: 函館認知症の人を支える会

TEL・FAX 0138-27-4060(木曜日のみ)

メール dounandesyonokai@gmail.com

函館認知症の人を支える会

- 電話相談
- つどい
- 会報発行

認知症の介護家族の励まし合い支え合い

認知症・電話相談

27-4060
木曜日
10時～15時

物忘れカフェ
の問い合わせ先

上手な介護は 認知症の理解から

認知症になったからといって何もわからなくなったわけではありません。知的な働きは衰えても、感情の働きは生きています。認知症のお年寄りの心を理解することが介護のコツです。



函館認知症の人を支える会
森とんぼの会

ひとりで悩まずに！！

介護を経験した者が受話器をとり、同じ立場であなたの言葉に耳を傾けます。

福祉サービスについての情報も提供しています。

森とんぼ

平成26年6月26日
271号

こと、
と感じ
が落ち
たという
すぐ入所
んでおい

る方
すが、
よね。



来た人

物忘れカフェ

どうなんでしょうの
会



物忘れで困っている人
物忘れで困っている人 がまわりにいる人
物忘れで困っている人 を支えたい人
物忘れについて 関心のある人なら どなたでも



お茶でも飲みながら 話ませんか
函館市総合福祉センター 3F第一会議室
13:30~15:30 お茶菓子代1人300円



どうぞ おいでください

問合せ 函館認知症の人を支える会
TEL 0138-27-4060:木曜日のみ
メール dounandeyonokai@gmail.com



7月までの日程

4月19日(土)

13:30~ 講演「まだ起きてたのがいい?カラダ、壊すんでないよ
~ 認知症の人に教えられたこと ~」
(認知症ケア専門士・社会福祉士 三谷真理氏)

14:30~15:30 物忘れカフェ

5月24日(土)13:30~15:30 物忘れカフェ

6月21日(土)13:30~15:30 物忘れカフェ

7月19日(土)13:30~15:30 物忘れカフェ

お手伝いして下さる方
も募集中です!

最後にもう一度 ご案内

毎月第3土曜日

13:30~15:30

函館市総合福祉センター

お茶菓子代 300円



ぜひ おいでください